

事務事業名 雲南市観光協会運営補助事業		所属部 産業振興部	所属課 商工観光課	
総合計画体系	政策名 (V) 挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G 商工観光グループ	課長名 落合正成	
	施策名 (38) 観光の振興	担当者名 鶴原 隆	電話番号 0854-40-1054 (内線) 3715	
	目的対象 市外の人・市民 意図 市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 5 0 1 項 目 中事業 中事業名 0 5 1 5 7 3	観光振興総務管理事業	
	基本事業名 (116) 受け入れ体制の充実 目的対象 観光客 意図 気持ち良く観光してもらう。		雲南市観光協会補助金	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (18年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
合併前まで各町村で組織していた観光協会を統合し、平成18年7月に「雲南市観光協会(本会)」を設立。官民協力協働による観光振興事業を推進。各町村の観光協会は支部組織とし、既存事業を実施。本会は、観光受け地づくり、観光PR、地域資源のネットワーク化等の事業を実施。平成27年4月に法人化した。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	26年度実績(26年度に行った主な活動) 観光推進員の配置、観光ガイド事業の実施、新規観光ガイドの養成、市内主要イベント聞き取り調査の実施、ホームページ等を活用した観光情報の発信 雲南市観光協会組織見直し検討 一般社団法人化準備	27年度計画(27年度に計画する主な活動) 27年4月1日に設立した一般社団法人雲南市観光協会への補助金交付及び円滑な運営の支援。 既存観光協会の解散(7月末予定)				
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 観光情報発信回数	回	429	589	545	500
	イ 観光ガイド利用者数	人	1,667	859	977	900
	ウ ガイド研修開催数	回	2	2	2	4
	エ 会員数	人	179	179	179	80

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
	観光客		ア 全国人口	千人	127,515	127,298	127,083	126,597
			イ					
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)		
雲南市に観光に訪れてもらう	ア 観光入込客数	千人	966.0	1,438.3	1,376.9	1,300.0		
	イ 観光ガイド利用者数	人	1,667	859	977	900		
	ウ 正会員数	人	0	0	0	80		

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)	
・負担金補助及び交付金(補助金) 12,065千円 ・委託料(観光推進員配置業務) 3,301千円 ・委託料(観光協会組織検討、移行業務) 1,802千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	3,900	5,500	3,300	9,300
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	11,512	11,520	13,868	26,580
		事業費計(A)	千円	15,412	17,020	17,168	35,880
	人件費	正規職員従事人数	人	9	9	9	
	延べ業務時間	時間	1,500	1,500	2,000		
	人件費計(B)	千円	5,877	5,840	7,776		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	21,289	22,860	24,944		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
支部における会員数及び会費、予算規模、事業内容等に大きな隔たりがある。会費の統一、観光協会が行うべき事業の取捨選択が必要になる。	支部の事務局を各総合センターで所管しているが、支部制を廃止し、雲南市で一本化する。併せて専任職員により事務体制とする。	出雲大社の遷宮・やまなみ街道の開通など島根県・雲南市を取り巻く観光に関する状況が大きく変化しており、観光振興の中核機関である観光協会への期待が高まっている。

事務事業名	雲南市観光協会運営補助事業	所属部	産業振興部	所属課	商工観光課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	スタッフを専任化したため、旅行者等への本格的なセールス活動や着地型旅行商品の開発が期待できる。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	官民一体となって観光振興を行う組織は観光協会以外にない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	平成27年度の予算はこれまでの支部の事業費と運営費を積算したものである。今後、事務・事業についてより、効果的・合理的な事業を優先していくことをこれから検討されていく状況である。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	専任スタッフ化及び支部制の廃止により、市職員の事務への関与を大幅に削減できる。ただし、専任スタッフ等の人件費等の確保は当面は市の補助が必要	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	基本的に観光協会の会員が受益者になるため、偏りが出る可能性があるが、産業振興部長が理事となっており、公平性をチェックする。また、より多くの観光関係者への入会を促進している。	
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	「賑わいあふれる雲南市づくり」や「交流人口の拡大」には、「観光の振興」施策が必要不可欠な施策のひとつである。これに官民協働で取り組む観光協会の存在は重要で期待度も高いが、観光協会として取り組むべき事業の精査や、より民間からの参画を促す必要があると考える。	
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
運営業務の事務効率化 専任スタッフの専門性強化、各種団体とのネットワーク構築 会員との連携による商品開発 など		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																			